

黒部の第九20周年記念

20年目の歓喜を歌う



第11回 名水の里

第九コンサート

Symphony No.9

会 場／黒部市国際文化センター コラーレ（カーターホール）

チケット／全席自由 2,500円（当日 3,000円）

曲 目 ベートーヴェン：交響曲第九番 ニ短調 作品125「合唱付」

ベートーヴェン：序曲レオノーレ 第3番 作品72

指 挥 横島 勝人

管 弦 楽 富山シティフィルハーモニー管弦楽団

ソリスト 岩井 理花（ソプラノ） 菅野 祥子（アルト）

井ノ上了吏（テノール） 谷 友博（バリトン）

合 唱 黒部で第九を歌う会合唱団

2013

5/19 日

13:00開場／14:00開演

†プレイガイド

コラーレ／アーツナビ／黒部メルシー／魚津サンプラザ
入善コスモホール／コスモ21／インフォマート（富山市民プラザ・CIC）

†お問い合わせ

コラーレ Tel (0765) 57-1201

黒部で第九を歌う会事務局 Tel (0765) 54-1339

主催／黒部で第九を歌う会・（株）北日本新聞社・北日本放送（株）・財黒部市国際文化センター
共催／黒部市

後援／黒部市教育委員会・黒部市芸術文化振興協会・黒部ライオンズクラブ
黒部ロータリークラブ・黒部中央ロータリークラブ



指揮 横島 勝人 *Katsuto Yokoshima*

大阪音楽大学卒。ウィーン国立音楽大学でL.ハーガー、P.シュヴァルツ、湯浅勇治各氏に師事。1998年コンドラシン指揮者コンクール、セミ・ファイナリスト。1999年ウィーン・トーンキュンストラー響を指揮。2001年、ウィーン郊外でハイドン：“天地創造”、2003年プラハ放送交響楽団を指揮。2005年ライプツィヒで「バッハ：口短調ミサ」と「第九」を指揮。2006年ウィーンとプラハでモーツアルト：「レクイエム・ガラ」を指揮、絶賛を博す。2000年より3年間小澤征爾音楽塾オペラプロジェクトアシスタント及び合唱指揮。2008年3月長野県松本市においてモーツアルトの交響曲全52曲を10年かけて演奏する「モーツアルト交響曲・全曲演奏会」が結成され芸術監督に就任、現在松本モーツアルト・オーケストラの指揮者を務めている。2009年2月、紀尾井シンフォニエッタ東京第68回定期演奏会にてメンデルスゾーン：エリアの合唱指揮（合唱：東京オペラシングガーズ）。2009年「国境なき合唱団」ベルリン公演でベルリン・シンフォニエッタを指揮して「第九」を演奏、2011年6月にはプラハで同合唱団と、引き続いでライプツィヒでそれぞれ「第九」を指揮。2013年1月、大阪フィルを指揮。



ソプラノ 岩井 理花 *Rika Iwai*

黒部市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科および同大学院修了。第54回日本音楽コンクール、ティト・スキーパ国際声楽コンクール、第1回藤沢オペラコンクール等、国内外の数々のコンクールに入賞。ミラノから帰国後は日本を代表する指揮者（小澤征爾、故若杉弘、大野和士、故朝比奈隆etc）と数多くのオペラやコンサートに出演し、成功を収めている。モーツアルトからヴェルディ、ワーグナーに至るまで幅広いレパートリーをこなす。「ワルキューレ」のジークリンゲ、「マダム・バタフライ」のタイトルロール等で評価され、1995年ジロー・オペラ賞を受賞。最近ではヴェルディ「マクベス」のレディ役で大成功を収める。コンサートでは「第九」「メサイヤ」をはじめ、モーツアルト、ヴェルディ、フォーレ、ブラームスの各レクイエムのソリストとして、またNHK芸術劇場、題名のない音楽会、NHKFMクラシック、名曲アルバム等にも出演し放送されている。北日本新聞芸術奨励賞受賞。新川地区発展賞奨励賞を受賞。二期会会員。

者（小澤征爾、故若杉弘、大野和士、故朝比奈隆etc）と数多くのオペラやコンサートに出演し、成功を収めている。モーツアルトからヴェルディ、ワーグナーに至るまで幅広いレパートリーをこなす。「ワルキューレ」のジークリンゲ、「マダム・バタフライ」のタイトルロール等で評価され、1995年ジロー・オペラ賞を受賞。最近ではヴェルディ「マクベス」のレディ役で大成功を収める。コンサートでは「第九」「メサイヤ」をはじめ、モーツアルト、ヴェルディ、フォーレ、ブラームスの各レクイエムのソリストとして、またNHK芸術劇場、題名のない音楽会、NHKFMクラシック、名曲アルバム等にも出演し放送されている。北日本新聞芸術奨励賞受賞。新川地区発展賞奨励賞を受賞。二期会会員。



テノール 井ノ上了吏 *Ryoji Inoue*

国立音楽大学卒業。東京文化会館推薦オーディション合格。日伊コンカルソ、日本声楽コンクール、東京国際コンクール、イタリア声楽コンカルソ他、入賞多数。1991年イタリアへ留学、イタリア各地でコンサートに多数出演、パドヴァ国際コンクール、パヴィア国際コンクール入賞。1995年帰国、「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ、「コシ・ファン・トゥッテ」フェランド、「ファルスタッフ」フェントン、「こうもり」アルフレード、「蝶々夫人」ピンカートン、「トスカ」カヴァラドッシ、「椿姫」アルフレード、「カルメン」ドン・ホセ、「ラ・ボエーム」ロドルフォ、他、二期会、新国立劇場公演などで活躍。ベートーヴェン「第9」、ヴェルディ「レクイエム」など国内主要オーケストラとも共演多数。2006年イタリアのボローニャにてコンサート、2011年レカナティ市にて「ベニアミーノ・ジーリ記念コンサート」に出演。NHK「FMリサイタル」、テレビ朝日「題名のない音楽会21」等にも度々登場。2013年には二期会創立60周年オペラ「マクベス」に出演予定。東京音楽大学及び大学院客員准教授、国立音楽大学非常勤講師、二期会オペラスタジオ講師、二期会会員、日本演奏連盟会員。



アルト 菅野 祥子 *Shoko Kanno*

岩手県陸前高田市出身。東京藝術大学音楽学部声楽科を経て、ウィーン大学に留学。音楽学を専攻する。声楽をオルガ・ワルラ・コロ、クルト・ヴィットマーの各氏に、リート・オラトリオをワルター・モア氏に師事。チェコ・プラハ国立歌劇場で蝶々夫人のスズキ役、カルメンのメルセデス役でオペラ出演。パリのユネスコ本部にてサンクトペテルブルク建都300周年記念音楽祭、ボスニア民俗音楽祭に出演。ウィーン・ベートーヴェン記念館、イギリス・ケンブリッジ大学にてリサイタル、ローマオペラフェスティバルなどに出演。ボスニア・バニヤルカ市庁舎ホールでのソロコンサートの模様はボスニア全土にテレビ・ラジオ放送され大好評を得る。その他ヨーロッパ各地でコンサートを行い、その豊かな経験と日本の繊細さとが絶妙に融合された表現は、人々の内なる世界に深く触れると高く評価される。毎年日本でリサイタルと、同時に小中学校や老人ホームにてミニコンサートを行うことが恒例となっている。またベートーヴェンの「第九」やモーツアルトの「レクイエム」のソリストを務める。友愛ドイツ歌曲コンクール学生部門第2位入賞。ルイージ・ストラーメージ国際声楽コンクール（イタリア）のオペレッタ部門第2位入賞。現在、ウィーン少年合唱団のボイストレーナーを務める。



バリトン 谷 友博 *Tomohiro Tani*

武蔵野音楽大学卒業、同大学院修了。1995年渡伊。第4回ピストイア・コンクール・オペラ部門第1位（イタリア）。第5回リニャーノ国際声楽コンクール第2位（イタリア）。第35回伊声楽コンカルソ第1位。第68回日本音楽コンクール声楽部門（オペラ）第1位、併せて特別賞受賞。他、受賞歴多数。稲葉祐三、菊池初美、L.サッコマーニ、A.モナコ、R.エリー、横山修司、D.マツツオーラの諸氏に師事。1995年、研鑽の傍らスロヴェニアのマリボール国立歌劇場で「ランメルモールのルチア」エンリーコ役、「セヴィリアの理髪師」フィガロ役として出演。ミラノ、ピストイアなどイタリア各地で「セヴィリアの理髪師」「愛の妙薬」「ドン・パスクアーレ」「椿姫」「カヴァレリア・ルスティカーナ」など、いずれも主要役で出演。他、数々のオペラ、ガラ・コンサート等に出演。日本では1999年、藤原歌劇団にて「ラ・ボエーム」ショナール役で本格的オペラデビュー。2002年に「ラ・トラヴィアータ（椿姫）」のドビニー役を経て、2003年にはジェルモン役に抜擢され絶賛を博す。新国立劇場では2000年ヴェルディ「リゴレット」マルッコ役でデビューし、その後も「ラ・ボエーム」「トスカ」「椿姫」「カルメン」「黒船」「夕鶴」等の出演が続いている。他、「第九」「メサイア」「カルミナ・ブランナ」等のソリストやNHKニューイヤーオペラコンサートにも出演。藤原歌劇団団員、武蔵野音楽大学講師、東京藝術大学講師。